



なかた みいな  
**中田 美依菜さん**  
(10歳・緑ヶ丘)

- 趣味  
バドミントン
- 今後の目標  
バスケの試合で勝つこと
- 今一番やりたいこと  
バドミントン
- 親友に伝えたいこと  
頑張ろう

菊陽人  
りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



うめはら あやの  
**梅原 綾乃さん**  
(10歳・下津久礼)

- 趣味  
バスケ
- 今後の目標  
テストで良い点を取ること
- 今一番やりたいこと  
たこやきを食いたい
- 友達に伝えたいこと  
これからも遊んでね

ゆ た か な 心 を は ぐ く む  
**人権のひろば**

子どもの目、子どもの声  
**人権  
作文シリーズ**  
【No.63】

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎(232)2113

◇印からの文章は、先生のコメントです。  
※中学生の学年は昨年度の在籍です。

私たち2年生は総合的な学習の時間のなかで、戦争のこと、平和のことについて学習してきました。実際に沖縄に修学旅行に行ってみて、戦争は恐ろしいものだと強く感じました。沖縄に行ったとき、飛行機からの景色を見ながら「こんなきれいな海と空を見ながら、どんな気持ちで爆弾とか落とすのかな」と思いました。糸数壕は暗いし、狭いし、ジメジメしていてとても嫌でした。早くここから出たいと思いました。上からは、水滴がポタツと落ちてくるし、明かりがないとめっちゃくちゃ暗くてすごく不安になりました。ひめゆり学徒隊はどんな気持ちで最後を迎えたのかなと思いました。ひめゆり資料館では「生きた人間にウジがわき、膿が出ている所を食べるんです。ギシギシと肉を食べている音が聞こえるんです。…」という資料を読んで心底ゾツとしました。鳥肌が立ちました。そんな状況になった人が、どれだけ居たのかなと思いました。佐喜真美術館はとてもすごいというか、悲しくて怖い絵があつてびっくりしました。これが戦争の現実なんだと思いました。照屋勇賢さんの作品である着物(み)みたいな物も衝撃的でした。ぱっと見は



▲平和への祈り

**沖縄の修学旅行で  
見えたこと**  
武蔵ヶ丘中学校 2年  
松田ひかり

菊陽句会報

きくよう文芸

夏燕「はい」と云ふ声明るくて	井 子文	夫の趣味苔の青々春惜しむ	曾我 育代
裏鬼門清めたわわの手毬花	財津 早雪	菖蒲風呂に夫も鎖く邪気払ひ	曾我トモ子
甘き香の雨にしみゆく花みかん	原野レイ子	暝目の地藏菩薩や月朧	日高 妙子
すんなりと旅に行く日や衣更	カ 幸子	山笑ふ風車の機嫌支へつつ	紫藤 祥子
アマリリス少し疲れて首垂るる	寺尾千代子	ジャズ流る遠き青春青葉風	村上 朋子
人も牛も迎え入れたり柿若葉	高橋 孝子	亀鳴くや妻の呼ぶ声明けの夢	野口 令史
苗植ゑる子の成長を願ふごと	堀川 妙子	一年生留守番も出来ママの笑み	藤本 純子
明け染めし黄金色なる麦の秋	寺尾 昭夫	部活動日焼て顔はパンダなり	佐藤 健
草苺摘みしは昔友恋し	吉野 早苗	登校の子等とおしゃべり葱坊主	佐藤 澄世
低空に飛行機騒音若葉雨	宮川ユキエ		

短歌会

夕暮れの厨に立てば隣より露の香りが風に乗り来る  
収穫を終えしモロコシ茎赤し果実に養分取られし証か  
登りゆく山寺の道息喘ておりおり仰ぐ空の真青さ  
岩間より落つる水音響きたり濃き深き川の流れに浴ひて  
朝風は萌ゆる若葉をそよがせて光と共に部屋に吹き来ぬ  
柘榴花五月の空に朱の色行進曲が遠くに聞こゆ  
庭に出てひねもす草を引きおれば鉄砲垣の山吹ゆれる  
あきらめに似たる思ひに目の前の濃き紅のかたばみの花  
のひらにありたるものが一瞬に消えてゆきたりきらめきながら

- 今村 貞子  
梅田 國雄  
河北 幸一  
菊川あさみ  
佐藤せい子  
中村トシエ  
松岡富紀子  
山川 カヅ  
松本 東亜

すこく色鮮やかできれいだけど、よく見ると戦闘機、オスプレイ、パラシュートで降りてくる兵隊さんが写っていました。思わず「はっ？」と声を出してしまいました。はじめは照屋さんがこの作品を通して何を伝えたいのか、私には分かりませんでした。ゆつくり考えて思ったことは「私たちはまだ知らない」ということです。この作品が戦闘機の絵を使っているということとを教えてくださいました。近くにはガイドさんでした。ガイドさんが教えてくれたければ気付かなかつたし、ただの着物だと思つて次の展示品を見ていたと思いません。誰かに教えてもらえないと気付けませんでした。誰かがあるのか分からず、じつと目をこらしていました。それでやっと分かりました。じつくり見ないと分かりません。照屋さんはわざとそんなデザインにしたんだと思います。「誰かが教えてくれないと気付けない、じつくり見ないと分からない、沖縄のこと。これが伝えられたのかなと思っていました。そして、ぱっと見きれいな着物。私たちは「沖縄から戦争の悲惨さを知つた。繰り返してはならない」と口々に言うけれど、まだぱっと見しかしていません。ゆつくり考えてみても思いません。誰かに教えてもらわないと、もつとじつくり見ないと、沖縄のことを知ることはできないんだと思います。」



▲バスの中での楽しいひととき

5月24日 土曜日に菊陽北小学校の運動会を北小のみならず、いちはん楽しかったきょうぎはリレーです。私のチームははじめにバトンをおとしちゃったけど、おとしもいっしょうけんめいがんばって走つたのがいいなと思いました。4日だったけど、アンカーのお友だちもさいごまで走つたのがいいと思いました。みんな楽しく走つてくれたから私も楽しくなりました。おうえんしてくれたみんなにかんじやしてせいっぱい走りまわす。とても楽しい運動会になってよかったです。

運動会で初めてバトンを使つたリレーに挑戦しました。走る順番もグループで相談して決めました。うまくいかなかったところもありましたが、お互いに応援したり励ましたりして楽しく競技することができました。



▲運動会楽しかったよ

**楽しかった運動会**  
菊陽北小学校 3年  
相馬 綾音

したことから、沖縄の人の思いやそこにある問題に目を向けているところが素晴らしいと思います。学年の人権集会では、この発表を聞いてあらためて気付かされたという生徒の感想も多くありました。学習したことを、沖縄のことだけでなく、仲間のこと、人権のこと、いろいろなことに関連づけて考えさせられました。